

ゆうあい報

第65号 新年号

おだひたる

特定医療法人
祐愛会織田病院

ODA REGIONAL MEDICAL CENTER

発行者
責任者

祐愛会織田病院企画室

織田 正道 <院内報>

2014年がスタートしました。今年の正月は、医療部門も介護部門も休むことなく、日常業務を続けました。本当にご苦労さまでした。

超高齢社会が現実のものとなり、24時間365日、我々が必要としておられる高齢者は増加の一途です。我々が目指す『Aging in Place』の実現は、決して簡単なことではありませんが、急性期から介護まで一貫したサービス提供可能な、新しい時代の地域医療の構築に向けて、更に前進していくたいと思います。

第63号で述べましたように、電子カルテのクラウド化によって、在宅医療の現場からも電子カルテの操作が可能となり、セキュリティ面での安全性も確保されています(図)。この取り組みは、言わば「地域包括ケアシステム」の医療版です。

なお、在宅医療のベースとなる「見守りシステム」は、東芝情報システムとの共同研究で進めており、今春にも実証実験を開始する予定です。これはITを活用し、在宅患者さんのバイタルサインやSpO₂がリアルタイムで病院に送られてくるシステムで、異常が発生した時はアラームで知らせてくれます。また、多数の応用も可能ですので、活用の幅が大きく広がるものと思います。

2014年グループ方針
「コラボレーションで安心の地域(在宅)病棟構築」

特定医療法人 祐愛会理事長 織田 正道

次いで「生活支援体制」の整備は、地域展開している認知症デイサービス、コンビニエンスストア、並びに薬局とのコラボレーションによる可能性を検討しています。

このように異業種の知恵を借り、今年中に「地域(在宅)病棟」実現に向けた取り組みを、グループ全体で進めています。

さて、昨年のことになりますが、新バージョンで受審した病院機能評価において、100点満点に換算し80点の高い評価を受けていたことが、日本経済新聞の調査で分かりました。80点以上は全国で4病院のみでした。前回(6年前)の受審時が全国で最高評価でしたので、2回連続での高い評価を受けたことになりました。このことは、我々に取って、新たな年に向けての大きな励みとなりました。

それでは、ここに2014年のグループ方針、並びに各分野の目標を示します。

◎2014年グループ方針

Aging in place 「住み慣れた地域で

分らしく最後まで」の実現をめざし、急

性期医療から在宅まで、保健・予防・医療・介護の各分野が一体的に提供できる総合ヘルスケアシステムの構築を目指します。

○保健・予防分野

「元気に長生き、エイジレス社会を目

的に取り組みます。」

積極的に在宅医療の充実を図る

・地域(在宅)病棟実現に向けて、他

業種とのコラボレーションを進める

・医療と介護情報の二元化・共有化を

組み受診者の2割アップを図る

・行政と協力して特定健診・特定保

健指導の受診率アップに努める

・病市民公開講座を、ゆうあい公

開セミナーと協同し、恒例化(隔

月)する

・介護分野と連携し、介護予防に

も積極的に関与する

○医療分野

「急性期病院として効率的で質の高い医療を目指すと共に、地域の医療機関や介護サービスと協力して在宅医療にも積極的に取り組みます。」

1. 地域に選ばれる病院づくり

①急性期機能の充実

・救急患者受け入れ体制の充実(救急隊との連携強化)

・逆紹介を推進し、紹介患者を増やす

・午後の各科専門外来を充実する

・退院支援・調整を充実し、年間新規入院患者3千名以上を目指す

・多職種によるフラット型チーム医療を実践する。

・地域完結型医療の推進

・連携センターを医療・介護連携の要とした、更なる充実を図る

・在宅療養支援診療所、訪問看護ス

・在宅医療のベースとなる「見守りシステム」は、東芝情報システムとの共同

化します(図)。この取り組みは、言わば「地域包括ケアシステム」の医療版です。

・地域完結型医療の充実

・連携センターを医療・介護連携の充実を図る

○介護・福祉分野

「医療との一体的サービス提供を進め、地域包括ケアシステムの全国モデルとなるように努める。」

1. 地域包括ケアシステムの実現

①介護老人保健施設における在宅復帰率50%以上をめざす

・回転率10%以上を維持し、在宅復

・病院と連携し、リハビリ機能の充実を図る

・病院とのシームレスな連携推進

・地域完結型医療の充実

・在宅療養支援診療所、訪問看護ス

・認知症への理解を深める

・TQM(Total Quality Management)の短縮を目指す

②ワーカーライフバランス(多様な勤務形態)の更なる推進

③人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る

④グローバルナースの教育・育成

⑤セイフティーマネジメント(医療安

全、院内感染防止)の更なる向上

⑥海外研修の充実

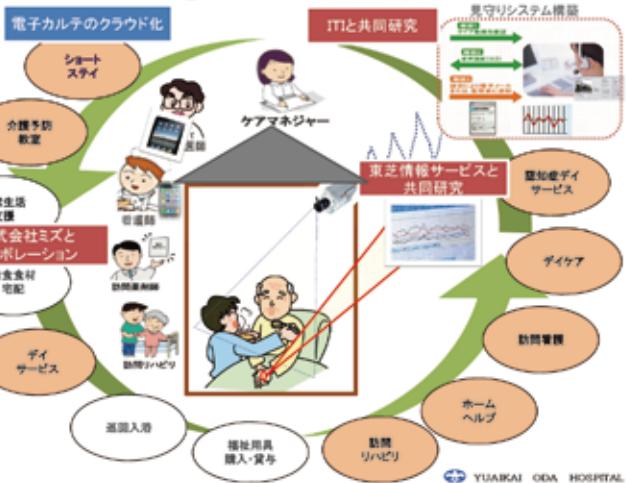
・パリ・モミ メディカルセンターハワイ)研修プログラムの充実

⑦・パリ・モミ メディカルセンターハワイ)研修プログラムの充実

・パリ・モミ メディカルセンターハワイ)研修プログラムの充実

- ・地域(在宅)病棟実現に向けて、他業種とのコラボレーションを進める
- ・医療と介護情報の「元化・共存化」を図る
- ・在宅見守りシステムを構築する
- ・生活支援・宅配サービスを他業種と協働する
- ③新たな事業の展開と既存事業のバージョンアップ
- ・認知症デイサービスの稼働率70%をめざす
- ・認知症デイサービス「ほのぼの」12時間サービス提供を進める
- ・ゆうあいビレッジ・イーストでの規模多機能ホーム開設に向けて取り組む
- ④人材採用・育成のための専属部門開設
- ・介護スタッフの能力向上に向け、「認知症ケア」の教育研修を強化する
- ・コミュニケーション能力の向上、笑顔と挨拶を徹底する
- ・外国人介護スタッフの教育・育成
- 2.スタッフに選ばれる職場づくり
- ①ワークライフバランス(多様な勤務形態)の更

(図)ICTを利用し地域(在宅)病棟のイメージ



- なる推進
- ②子育て支援・介護支援の充実
- ③業務の効率化を図り、時間外勤務の短縮を目指す
- ④人事制度の刷新(考課者のマネジメント教育徹底)を図る
- 3.セイフティーマネジメント(転倒転落防止、院内感染防止)の更なる向上
- 4.「ゆうあい社会福祉事業団」の事業独立を更に推進
- 今年の診療報酬改定に続き、来年は介護報酬の改定が予定されています。次回の介護報酬改定についてはすでに見直しの主要な論点が明らかになつております。マスコミなどですでに報道されていますが、その行われるとと思われます。マスコミなどですでに報道されていますが、その論点について以下に挙げてみる事にします。
- 地域包括ケアシステムの構築
- 2025年へ向けて地域包括ケア計画はすでに進行中ですが、今後は法律的な制度化などがさらに行われる見込みです。
- 予防給付の見直し
- 国からの介護保険給付は中重度を重点的にとの考え方とともに、まずは要支援の方の給付を市町村主体に移行します。
- 認知症対策
- 昨年書きましたが、認知症施策推進5カ年計画が進行中です。
- 在宅サービスの促進
- 在宅生活を維持できるような通所介護・小規模多機能通所介護への見直し、なかなか普及しない定期巡回・随時対応型訪問介護看護の促進について検討中です。
- 施設サービスの見直し
- 特別養護老人ホームの入所が要

- 者向け住まい(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの役割やあり方についての検討がなされています)。
- 費用負担の公正化
- 一定以上所得者や資産を持ついる方の利用者負担増加が予定されています。
- 地域包括ケアシステムは、その流れとして人生の最終段階において医療・福祉が「病院完結型」から「地域完結型」への転換が図られていると考えています。
- 地域包括ケアシステムの構築
- 2025年へ向けて地域包括ケア計画はすでに進行中ですが、今後は法律的な制度化などがさらに行われる見込みです。
- 予防給付の見直し
- 国からの介護保険給付は中重度を重点的にとの考え方とともに、まずは要支援の方の給付を市町村主体に移行します。
- 認知症対策
- 昨年書きましたが、認知症施策推進5カ年計画が進行中です。
- 在宅サービスの促進
- 在宅生活を維持できるような通所介護・小規模多機能通所介護への見直し、なかなか普及しない定期巡回・随時対応型訪問介護看護の促進について検討中です。
- 施設サービスの見直し
- 特別養護老人ホームの入所が要

介護サービス 供給体制の展望

千々岩 親幸

今年の診療報酬改定に続き、来年は介護報酬の改定が予定されています。

次回の介護報酬改定についてはすでに見直しの主要な論点が明らかになつております。

マスコミなどですでに報道されていますが、その論点について以下に挙げてみる事にします。

「パリ・モミ メディカルセンター」 CEOが当院訪問

専務理事 織田 洋子

昨年11月14日(木)に、米国ハワイ州にある当院の国際姉妹病院である「パリ・モミ メディカルセンター」から、ジェーン・シェハノビッチCEO一行4名が当院視察のため来院されました。2010年に国際姉妹病院として提携を結んでから、当院からは幹部職員を中心に16名が「同センター」視察に伺つてきましたが、逆に当院への視察は初めてでした。当日は、午前中から「ジョインント・セッション」がスタートし、2時間に亘りお互いの医療制度改革、並びにその改革に対する当院の取り組みについて話をされ、次いでシェハノビッチCEOから、「パリ・モミ メディカルセンター」の現状、さらには「無保険者の救済」の名のもとに昨年10月にスタートした「オバマケア」についてのお話がありました。日米両国の医療制度の現状、お互いの経営戦略など新たな情報交換ができたことは大きな成果でした。特に米国における国民皆保険制度施行以後からは通所、施設、居住系サービスの充実を図つてきました。当法人では利用者の方が適切なサービスを受けることができるように今後も在宅から施設サービスまで地域完結型の多様なサービスの提供をおこなっていく予定です。

介護3以上に限定されます、高齢者向け住まい(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの役割やあり方についての検討がなされています)。

○費用負担の公正化

一定以上所得者や資産を持ついる方の利用者負担増加が予定されています。

地域包括ケアシステムは、その流れとして人生の最終段階において医療・福祉が「病院完結型」から「地域完結型」への転換が図られていると考えています。

○地域包括ケアシステムの構築

2025年へ向けて地域包括ケア計画はすでに進行中ですが、今後は法律的な制度化などがさらに行われる見込みです。

○予防給付の見直し

国からの介護保険給付は中重度を重点的にとの考え方とともに、まずは要支援の方の給付を市町村主体に移行します。

○認知症対策

昨年書きましたが、認知症施策推進5カ年計画が進行中です。

○在宅サービスの促進

在宅生活を維持できるような通所介護・小規模多機能通所介護への見直し、なかなか普及しない定期巡回・随時対応型訪問介護看護の促進について検討中です。

○施設サービスの見直し

特別養護老人ホームの入所が要

タツフが英語で説明をしてくれましたので、視察一行もよく理解できましたと大変に喜んでいただきました。すべての視察が終わり、今度は日本の文化に触れていたくために、「祐徳稻荷神社」を参拝し、宮司さんから神社の詳しい説明もいただきました。その後、当院の「古医書資料室」にご案内し日本の医学の流れについて紹介しました。

さらには理事長宅の300年来の茶室にて「お茶会」を行い日本の文化を体験していただきました。以上のように朝から夕方まで分刻みのスケジュールでしたが、今後の友好関係を確認し合えることができた有意義な時間になつたものと思います。

最後に、一行の宿泊先の嬉野温泉「大正屋」にて、歓迎パーティーを催しました。これも参加した幹部職員の皆さんとの温かい「お・も・て・な・し」の気持ちが通じ和やかな雰囲気の中、大変喜んでもらいました。今後、さらにグローバルな時代になりますが、当法人は海外の医療グループとの交流を積極的に進めていきたいと思います。

なお、翌15日(金)は、「佐賀県医療セントー」、並びに「サガハイマツト」を、同施設の十時理事長にお願いし視察されました。



「ようこクリニック」 オープン

ようこクリニツク

院長 織田洋子

昨年10月7日(月)に、皮膚科専門

の患者さんにはとても好評です。

報告書参照

平成25年12月8日にケアエートゆうあいで、夜間の火災発生を想定して、避難誘導訓練を行いました。

なお、「ようこクリニック」は、道路を挟んで、病院玄関の真正面にあり、これまで来院されていた患者さんに迷惑をかけずに済みました。皮膚科専門クリニックとなり、先述したようなメリットも多く生まれ、外来受診

A..機能を有さない2項目を含む)のうち、「S..秀でている」5項目、「A..適切に行われている」68項目、「B..一定の水準に達している」13項目、「C..一定の水準に達しているとはいえない」0、という結果でした。

ケアコート 夜間避難訓練

ゲループホームゆうあい

ホーム長 北川 英俊

「ようこクリニック」
 オープン

ようこクリニック
院長 織田 洋子

昨年10月7日(月)に、皮膚科専門の「ようこクリニック」を開設しました。法人では、5年前より、地域医療のあり方やニーズを踏まえ、サテライトクリニック開設に向けて検討を進めてきました。特に皮膚科専門医がいる医療機関は、当医療圏では4医療機関と少なく、特に鹿島市内には他に皮膚科専門医がないため、皮膚科単科でも月に2千名もの外来患者さんの診療を続けてきました。

院内の他科が休診となる午後の時間帯にも外来患者さんが途絶えることがなく、効率化の点からも皮膚科単独のサテライトクリニックを先行し開設することになりました。この「ようこクリニック」の開設により、病院や会計待ち時間ゼロへの取り組みが可能となりました。さらにネットを活用した予約もできるようになり多くのメリットが出てきています。また、待合室には季節を楽しめる花々が咲く小庭があり、噴水から流れる水のせせらぎと、優しい音楽による癒しの空間を再現しています。今後、内科や外科などの外来分離に向けて、先行した皮膚科の成果が大変参考になるものと思います。

なお、「ようこクリニック」は、道路を挟んで、病院玄関の真正面にあり、これまで来院されていました患者さんに迷惑をかけずに済みました。皮膚科専門クリニックとなり、先述したようなメリットも多く生まれ、外来受診の患者さんにはとても好評です。

また、病院が開放型病院ですので、従来通り入院が必要な患者さんに対応でき、病院の常勤皮膚科医と共に「2人主治医」制で私も診療に当たります。これからも、「すべては患者さんのために」の精神を忘れず、可愛い愛嬌のあるスタッフ達と共に頑張って参ります。こので、よろしくお願いいたします。

「A・機能を有さない2項目を含む」のうち、「S・秀でている」5項目、「A・適切に行われている」68項目、「B・一定の水準に達している」13項目、「C・一定の水準に達しているとはいえない」0、という結果でした。(詳細はPublic機能評価→審査結果報告書参照)

今回の大幅に変更された審査内容に、取り組みやアピールポイントを充分に伝えることが出来たのか、不安を残したまま受審を終えた部署もあつたことと思いますが、十一月の最終審査結果は、予想を超える高い評価でした。

日本医療機能評価機構の安全管理基に、日本経済新聞社が実施した「暴力病院調査」でも、80点という高得点で亀田総合病院・倉敷中央病院と並び全国2位(一般病院では1位)の好成績でした。(2013年12月26日 日本経済新聞)

これらの結果は、病院目標の達成に向けて、職員一人ひとりが向上心を持つて努力し、チームワークを図りながら、組織全体が少しづつ成長し続けたことが評価されたものだと思します。

今後も、「住み慣れた地域で自分らしく最後まで」の方針のもと、急性期病院として効率的で質の高い医療を目指して、職員全員で頑張っていきましょう。

最後に、2014年が皆様にとって実りある良い年となりますように。

平成25年12月8日にケアコートゆうあいで、夜間の火災発生を想定して、避難誘導訓練を行いました。

最近、高齢者施設・病院の火災により尊い命が失われるニュースがたびたび聞かれます。多くの命をお預かりしている私たちにとっても、他人事ではありません。もしもの時に備えて日々防災意識を高めるとともに、各事業所で年間二回の避難誘導訓練を行っています。

特に夜間は職員が少なくなる為、ケアコートゆうあいの80名の入所者様に短時間で避難していただき、くためには、地域の皆様の協力が不可欠となります。

今回は一階療養棟20名、二階療養棟20名の模擬入所者を設定し、ゆうあいビルジ内での夜勤職員6名、自宅から駆けつけたゆうあい職員25名、織田病院職員5名、近隣地域の消防団員50名、鹿島市女性消防団員6名、鹿島消防署8名の協力を得て無事に訓練を終えることができました。自宅から駆けつけた職員にもそれぞれ役割を設定しました。災害対策本部と現場をトランシーバーで結び、応援依頼

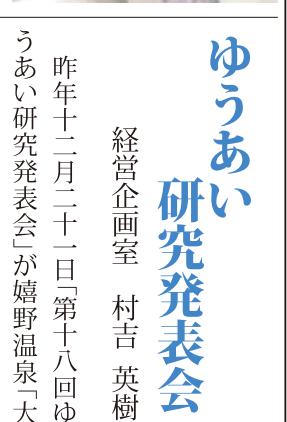


頼や逃げ遅れた
方の情報を現場に
伝えるなどの連携
を確認しました。
看護師5名は避
難場所に救護所
を設定し酸素吸
入や吸引処置を行いました。ゆうあ
い職員は主に建物内にいる入所者を
屋外に誘導し、消防団や地域住民の
方には屋外に誘導した入所者を避難
場所まで搬送していただきました。

今回は模擬入所者はありました
が、本当の高齢者を避難誘導している
ように、「大丈夫ですよ」、「痛くないで
すか」などと言葉をかけながら搬送
している職員同様、消防団員の方もや
さしく言葉をかけておられました。

訓練終了後に鹿島消防署の方や鹿島市消防団長から、「まずは火災を発生させないこと、もし発生した時は初期消火を速やかに行い、煙から身を守ること。また、避難先で傷病者の重傷度判定(トリアージ)を行い、次の処置に繋げることが大切」というアドバイスをいただきました。

今後も訓練を重ね全職員の防災意識向上を図ることも、地域の方々からも協力が得られるようになります。



ゆうあい研究発表会

経営企画室 村吉 英樹



昨年十二月二十一日「第十八回ゆうあい研究発表会」が嬉野温泉「大正屋」で開催されました。最近ではQC活動が法人内に浸透し、各部署で効率的な業務改善が行われ横の連携も図られているように感じます。また、その活動内容を発表したいとういう部署が増えています。そこで表会を行い、両施設で共有できる活動を厳選し、それぞれ3題ずつ計6題を忘年会前に披露することになりました。

今回のテーマは、「改善」で前回の活動のその後を発表するチームと新たな活動を発表するチームがありました。主な内容は、サービスの向上と

QC活動を続けて患者様・利用者様

「第6回地域褥瘡勉強会を終えて」

デクビタス委員会

辻田 幸子

惹いては地域の皆様の為に保健・予防・医療・介護の各分野が一体的に提供できる祐愛会を皆で築いていければと思います。

特別講演は織田理事長より「グループ近未来」

今年度は医師をはじめ看護師・介護士はもとよりヘルパーや調理師など他職種101名の参加がありました。昨年の勉強会で頂いた意見や要望をもとに、デクビタス(褥瘡対策)委員会で「予防・治療」についてパンフレットを作成し、地域に発信する



についてご講演いただきました。

Aging in place「住み慣れた地域で自分らしく最後まで」の実現をめざし、皆で頑張りましょう。

こととしま

した。看護師からはスキンケアで

は保湿が大

切であるこ

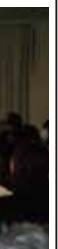
と、医師か

らは段階に

応じた治療

内容や、受

診のタイミ



菊花展の紹介

健康管理センター

牛島 久美子

今年も鹿島市菊花同好会の方のご好意により、たくさんの菊の花を織田病院正面玄関入り口に展示させていただきました。



毎年同好会の方が、織田病院の患者様にも楽しんでいただきたいとのことで、文化の日の祐徳菊花展にあわせて織田病院にも展示してくださいました。同好会の皆様が約1年間にわたり丹精こめ栽培された作品が一堂に会した光景はまさに美の極致といえます。

展示期間中は、患者様はじめ当院にお見えになる方など多くの方が喜んで観賞されていました。また、日々の業務に追われる私たち職員の目も和ませてもらい、癒しを与えていた



新任Dr紹介



総合診療 徳島 圭宣

【出身医局】
佐賀大学 医学部総合診療部
〔専門領域〕総合診療



平成25年10月より赴任しま

した総合診療部の徳島圭宜です。佐賀大学を

卒業後は2年間初期臨床研修を行いました。その後は内科の後期研修として嬉野医療センターや佐賀大学、富士大和温泉病院などで勤務させていただきました。総合診療部として鹿島の地域医療を担う一員になりましたが、これからよろしくお願いします。

耳鼻咽喉科 田浦 政彦

【出身医局】
九州大学耳鼻咽喉科
〔専門領域〕頭頸部腫瘍

平成二十五年十月より勤務しております

しております耳鼻咽喉科の田浦政彦です。平成

十二年に九州大学を卒業して九州大学耳鼻咽喉科に入局しました。平成二十年より九州厚生年金病院、平成二十二年より九州がんセンター、平成二十四年より九州大学病院にて頭頸部腫瘍を中心診療を行つてきました。耳鼻咽喉科では耳疾患、鼻疾患、咽喉頭疾患、頸部疾患など様々な疾患を扱つております。

す。お役に立てるように努力したいと思います。どうか宜しくお願ひ致します。

形成外科 吉田 一暁

【出身医局】
久留米大学形成外科・顎顔面外科
〔専門領域〕形成外科一般

平成二十五年十月より赴任しました、形成外科の吉田一暁です。

まだ足りなところ多々あります。まだまだ足りなところ多くお願いします。

皮膚科 森 樹子

【出身医局】
佐賀大学医学部皮膚科
〔専門領域〕皮膚科

平成25年10月に佐賀大学

医学部付属病院皮膚科より

赴任いたしました。

森樹子(まさきこ)です。2年前にも織田病院にお世話になっておりましたが、織田病院を離れる日、病院玄関へ集まつてくださった方々を前に「いつか必ず戻つてきます!」と半泣きで宣言したこと覚えていています(…かなり早めに出戻つてきましたが)。まだまだ微力ではありますが、

洋子先生のご指導のもと、以前よりも皆様のお役に立ちたいと思つておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

して頂けるように日々精進してまいりますので宜しく御願い申し上げます。

寒い中、ようこそ鹿島へ ハスティさん、アリさん、リタさん



ヴェロニカさん
ヘスティ・サトリアニンさん
リテシア・アリさん



して頂けるように日々精進してまいりますので宜しく御願い申し上げます。

ハスティさん、アリさん、リタさん

（左）ヴェロニカさん
（右）ヘスティ・サトリアニンさん
（下）リテシア・アリさん

アリ..建物がキレイだと思います。
アリ..忙しいけど、みんな優しくて、者様へのサービスも良いと思う。
アリ..1年間ずっと日本語の勉強ばかりで、看護生活から離れていたので勘を取り戻すのに苦労した。
アリ..建物がいいです。いろんなサービスがあつて、利用者様が便利だと思います。

Q1 病院の印象はいかがですか?	アリ..忙しいけど、みんな優しくて、者様へのサービスも良いと思う。
Q2 好きな日本食はありますか?	アリ..ラーメン。 アリ..おにぎり、刺身が好き。 アリ..ラーメンが好きです。
Q3 趣味は何ですか?	ハスティ..バドミントン。 アリ..音楽を聴くこと、歌を唄うこと。 ヴエロ..ピンポン(卓球)、音楽鑑賞です。 リタ..ジヨギングです。
Q4 日本でやつてみたいこと、行つてみたいことはありますか?	ハスティ..札幌でスキーをしたい。 アリ..沖縄に行つてみたい。1人で日本を旅したい。 ヴエロ..富士山へ行つて、頂上まで登りたい。 リタ..スキーがしたいです。北海道にも行つてみたいです。
Q5 好きなタレントは?(日本人)	アリ..SMAP アリ..miwa(女性歌手) リタ..いないです..
Q6 日本語で好きな言葉はありますか?	ハスティ..安倍首相 アリ..平和。 ヴエロ..『平和』が好きです。 リタ..『ありがとうございます』が好きです。

ご協力ありがとうございました!

ハワイ研修を終えて~

坂田 善和



燐々と降り注ぐ太陽と青い海、私が思い描くハワイのイメージがまさしくそこにありました。そう、私は全日本病院のハワイ研修に参加し、はじめてハワイの地に降り立つたのです。ハワイに行つたことがある方はわかると思いますが、ホノルル空港に降り立つとまずそこは南国の暖かい気候、日本とは違う湿度が低いので、暑いんだけど全く嫌な感じがしない、すこし易い気候です。移動中のバスから白い砂浜と青い海が見え、南国リゾートを感じさせます。ホテルの部屋からはオーシャンビューの大パノラマ、「来てよかつたーーー」と思わず叫んでしまいます。

ハワイ研修で過ごした6日間、やることなすことほとんどが初めてのことばかりで困ったこともありましたが、多

くそこになりました。そう、私は全

ハワイの地に降り立つたのです。ハ



のくらいにして、研修の話題に移りたいと思います。

研修は午前の部と午後の部に分かれています。午前中はオバマ大統領が進めていたアメリカの医療制度改革の話とアメリカで看護師として働くためにはどういった内容で講義を受けました。いずれの話もアメリカと日本の医療制度の違いをわかりやすく、丁寧に教えていただきすごく勉強になりました。午後からは日系人が設立したクワキニホスピタルの視察をさせてもらいました。この病院では数多くのボランティアのスタッフが働いていて、ボランティアスタッフに支えられて成り立っています。また、またスタッフの皆さん笑顔で挨拶してくれて、短い時間でしたますがすごく好印象でした。またスタッフの皆さんと一緒に感謝でした。



★織田病院4階病棟

小柳 有理

①成人式を終えて、喜びの気持ちと大人としての反面、大人としての責任を感じる不安も大きいです。周りの皆様に感謝の気持ちを忘れず、頑張りますので今後もよろしくお願いします!!

★織田病院4階病棟

西 千晶

①無事に成人式を終える事が出来、とても嬉しく思います。今まで支えて下さった周りの方々に感謝あります。がこれからは大人になつた自覚と責任を持つて行動していくたいと思います。



②友人と色々な場所に行つてたくさんお酒をのみたいです。今まで以上の自分になるために新しい事に挑戦していきたいと思います。

③毎日笑顔を忘れず、一日一日を大事に過ごしていきたいです。

まだ未熟者ですが精一杯頑張りますので今後もよろしくお願いします!!

張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。②友達とお酒を飲みに行きたいです。未熟者で迷惑をかけることもあります。③未熟者で迷惑をかけることがあります。これからもうろしくお願いします。

★ゆうあい

宮崎 美紀



①成人式を終え、大人の仲間入りをしていました。は今以上に責任感をもち何でも頑張って行きたいです。

②新しいことにたくさん挑戦し、成長していきたいです。

③何でも一生懸命がんばります。

①成人を迎えた感想は? ②成人してやってみたいことは? ③自己PR



成人おめでとう!



学会(研究会)・講演(講義)・論文発表 (平成25年度)

【学会(研究会)発表】

◎医学関係

- ・**第4回佐賀県臨床皮膚科医会**
(ホテルニューオータニ佐賀)(4月13日)
織田洋子「気になるスライド」「当院における帶状疱疹の統計～15年前の比較～」
 - ・**第31回総合診療ケースカンファレンス**
(マリトビア)(5月15日)
大串昭彦「頸部痛を主訴に当院外来を受診した3例」
 - ・**外科フォーラム**
(マリトビア)(7月3日)
佐藤建、大高和真、江戸川、伊山明宏「切除不可能な回盲部Caに対しXELOX療法により切除し得た一例」
 - ・**第21回日本大腸検査学会九州支部会**
(佐賀県医師会成人病予防センター)(8月24日)
坂田泰志、松永圭司、山本衣理子、永田和子、土井京子、松尾由美、中元寺美咲、平川みき「頻回の内視鏡検査でS状結腸憩室からの出血を確認し内視鏡的止血術を行った1例」
 - ・**第36回佐賀救急医学会**
(伊万里市民センター)(9月14日)
相原秀俊、徳島縁、大串昭彦、中原快明、西山雅則、織田正道「喘息発作重積に対しての気管内挿管中に、著明な縱隔気腫・皮下気腫を発症し、挿管に難渋した1例」
 - ・**第32回総合診療カンファレンス**
(マリターレ創世)(10月16日)
大串昭彦「気管内挿管に難渋した気管支喘息の一例」
 - ・**第31回日本頭蓋骨顔面外科学会学術集会**
(ウェスティンナゴヤキャッスル)(10月25日)
吉田一暁「頸部に発生した比較的稀な皮下腫瘍2例の経験」
 - ・**全日本病院学会in埼玉**
(大宮ソニックシティ)(11月2日)
織田正道「人材紹介会社の活用の実態」「2025年に求められる病院経営—急性期の中小病院の立場から—」
 - ・**第93回九州・沖縄形成外科学会**
(飯塚嘉穂劇場)(11月16日)
吉田一暁「頸部に発生した比較的稀な皮下腫瘍2例の経験」
 - ・**第3回 西部消化器勉強会**
(武雄市医師会)(11月28日)
坂田泰志「短期間に自然消失した胃diffuse large B-cell lymphomaの1例」
坂田泰志「自然消失した十二指腸潰瘍性リンパ腫の1例」
 - ・**第6回佐賀県臨床皮膚科医会**
(ホテルニューオータニ佐賀)(12月7日)
織田洋子「気になるスライド」「皮膚科医の往診、在宅医療に関するニーズの現状」
 - ・**日本プライマリ・ケア連合学会佐賀県支部第1回学術集会**
(佐賀大学医学部)(12月8日)
織田正道
 - ・**シンポジウム「プライマリ・ケアの日常業務から研究発信をめざして」**
- ◎看護・介護・福祉etc
- ・**日本医療マネジメント学会 第11回佐賀支部学術集会**
(唐津市文化体育館)(2月16日)
久本由香、小濱悦子、東島晴香、辻田幸子
「麻薬使用中の脊椎空洞症患者の便秘に対する看護～自宅退院を目指して～」
 - ・**日本医療秘書学会第10回学術大会**
(大阪国際会議場)(2月24日)
中元寺美咲、平川みき、田中優子、坂田泰志
「内視鏡室における医療秘書業務」
 - ・**第36回日本嚥下医学会ならびに学術講演会**
(京都市みやこめっせ)(3月2日)
言語聴覚士 梶渡亮子
「嚥下障害の評価における咳テストの有効性について」
 - ・**第31回佐賀県看護研究会**
(佐賀市民会館)(3月9日)
久本由香、小濱悦子、東島晴香、辻田幸子
「麻薬使用中の脊椎空洞症患者の便秘に対する看護～自宅退院を目指して～」
 - ・**第12回氣つきを築くユニットケア全国実践者セミナーin神戸**
(神戸学院大学)(3月16・17日)

池田由紀子、市丸徳美、西村美枝子
「QC活動を通して職員のやる気を引き出す」

- ・**日本CPAT研究会in OGI SAGA**
(小城保健福祉センター 桜葉館)(5月25日)
橋間祐也「精神面の不安定な入居者にJ-CPATを用いたアプローチ」
- ・**第9回MI・RA・Isユーザーフォーラム大会**
(第一ホテル東京)(7月18日)
宮崎公志「仮想化システム導入による効果～活用事例と今後の展望～」
- ・**平成25年度第2回日本CPAT研究会in盛岡・岩手**
(マリオス盛岡地域交流センター)(10月5日)
市丸徳美、北川英俊、西村美枝子
「サービス移行前後の事業所間のCPAT測定値の比較により見えた課題」
- ・**第23回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会in東京**
(東京ドームホテル)(10月11日)
理学療法士 原田将司「胸部拡張増を認めた混合性換気障害者の呼吸機能変化」
- ・**日本医療マネジメント学会 第12回九州・山口連合大会**
(海峡メッセ下関)(10月12日)
平川みき、岩石怜子、中元寺美咲、酒井優子、坂田泰志、辻田幸子、原田将司、神代修、小森ヒロ子、田久保利佳「他職種参加の内科カンファレンスについて～医療秘書の立場から～」
- ・**日本医療マネジメント学会 第12回九州・山口連合大会**
(海峡メッセ下関)(10月12日)
酒井優子、岩石怜子、平川みき、中元寺美咲、江口富士子、安武努、坂田泰志「佐賀県の肝がん死亡率減少に向けた取り組み～医療秘書が行えること～」
- ・**第55回全日本病院学会in埼玉**
(大宮ソニックシティ)(11月2・3日)
内堀奈々、辻田幸子
「高齢者介護施設における口腔ケアの現状～口腔ケア継続のための連携を目指して～」
中村恭子、土井京子、川島裕子、江口富士子
「外来インスリン治療中患者の足病変の現状～フットケア導入を目指して～」
織田美穂子
「電子カルテ導入に向けて～医事課の取り組み～」
宮崎公志「仮想サーバーの導入効果と今後の課題」

【講演】

◎医学関係

- ・**第20回 九州医療・病院管理研究会**(2月23日)
織田正道「急性期医療の使命と現実」
- ・**第27回鹿島市みんなの集い 医學講座**(3月10日)
中原快明「高齢者肺炎の治療と予防—医療と生の質を考えるために—」
- ・**鹿島藤津地区医師会学術講演会**(5月24日)
織田洋子「日光角化症の診断と治療」
- ・**鹿島・藤津地域リハネットワーク研究会**
(エイブル)(6月12日)
宮地英彰
「危険予知とリスク評価～嚥下・口腔機能面より」
- ・**看護・介護・福祉etc**
- ・**第2回Eブロック看護介護部会研修会**(2月8日)
市丸徳美「認知症ケア～事例検討」
- ・**社会医療法人白十字会研究発表会**(2月16日)
重松かおり「退院支援について」
- ・**鹿島看護学校卒業記念講演**(2月22日)
市丸徳美「看護の魅力～認知症看護認定看護師の活動を通して」
- ・**佐賀糖尿病療養指導士会杵藤地区研修会:第17回蓮根の会**(3月8日)
市丸徳美「看護の視点から考える認知症ケア」
- ・**鹿島市介護支援専門員情報交換会研修会**
(5月8日)
市丸徳美「認知症の気づき方、接し方」
- ・**佐賀県看護協会新人看護職員多施設合同研修会**
(5月17日)
市丸徳美「フォローアップ研修1認知症看護の実際」
- ・**杵藤地区介護支援専門員協議会総会記念講演**
(6月11日)
市丸徳美「認知症看護認定看護師として伝えたいこと」

【講義】

◎医学関係

- ・**鹿島藤津地区医師会率看護高等専修学校**
(3月13日・14日)
織田洋子「人体のしくみ働き、疾病の成り立ち(感覺系 皮膚科)」

- ・**佐賀大学医学部医学科3年生**(4月22日)
西山雅則「地域高齢者医療—介護と在宅医療」
- ・**佐賀県立総合看護学院**(6月4日)
西山雅則「地域医療と高齢者保健指導」
- ・**佐賀大学医学部学生地域医療実習**(9月3日)
織田正道「超高齢者医療の地域医療」

◎看護・介護・福祉etc

- ・**佐賀大学医学部看護学科講義**(1月11日)
市丸徳美「介護老人保健施設における看護」
- ・**嬉野医療センター附属看護学校講義**
(5月23・30、6月6・13・20・27、7月4・30)
小森ヒロ子「在宅看護論」
- ・**鹿島藤津地区医師会看護高等専修学校講義**
(6月26・7月3・10・17・24・31、8月28)
理学療法士 本村幹親「リハビリテーション概論」
- ・**嬉野医療センター附属看護学校講義**(11月14・28)
市丸徳美「老年看護学方法論II:高齢者を取り巻く保健医療施設、高齢者の理解」

【論文・著書】

◎医学関係

- ・織田正道:電子カルテのクラウド化がもたらす可能性を検証する(月刊 新医療、25年7月号、28-31、2013)
- ・織田洋子:医師会肥前風土記(医界佐賀、25年6月1日号)
- ・坂田泰志、内藤優香、中元寺美咲、平川みき、田中優子:間欠的に胃幽門の閉塞を生じた胃過形成性ボリープの1例(内科、111(1),179-81,2013)
- ・坂田泰志、徳島縁、中元寺美咲、平川みき、永田和子:胃幽門の閉塞を生じた有茎性早期胃癌の1例(内科、111(4),779-8782,2013)

◎看護・介護・福祉etc

- ・原崎真由美:インシデントの解析から転倒・転落事故対策を見直す
(患者安全推進ジャーナル 2013 N.33)
- ・久本由香:麻薬使用中の脊椎空洞症患者の便秘に対する看護～自宅退院を目指して～
(全日本病院協会雑誌 Vol.24-1 2013第54回全日本病院学会in神奈川 最優秀演題)
- ・石井大輔、光武耕治、西村美枝子、市丸徳美、安永勝子:現場に合った教育体系づくり
(日総研 高齢者安心安全ケア実践と記録、2013年11・12月号、56-63)
- ・中元寺美咲、平川みき、田中優子、坂田泰志:内視鏡室における医療秘書業務
(日本医療秘書学会会誌 Vol.10 2013.25-27)
- ・平川みき、田中優子、中元寺美咲、坂田泰志:内科カンファレンス(入院患者検討会)参加の有用性(日本医療秘書学会会誌 Vol.10 2013.79-81)
- ・田中優子、中元寺美咲、平川みき、坂田泰志:佐賀県肝炎ウイルス感染者登録事業における医療秘書の役割(日本医療秘書学会会誌 Vol.10 2013.82-84)

ふるさと探訪

『冬の長崎』



あけましておめでとうございます。お正月と言つたら「お餅」思いつきますでしょうか?私の実家では年未に餅つきを行うため、正月はお餅の大量発生が見受けられます。

お餅にちなんです
が、私の故郷・長崎では「長崎雑煮」なるものがあるそうで、丸餅に9~13種類の具材(青菜等々)、その中にブリが入っているブリ雑煮が定番御節として存在しているみたいです。

さてさて、我が家はいかがかと申しますと・・・ブリらしきもの見つからず、お持ちしております。

入れ忘れかと鍋を覗いて

みるものの見つからず、家庭の味は少し違つたみたいですが、おいしくいたしました。

ところで話は変わりますが、「長崎」では中国旧正月のお祝い事である「春節祭」を起源とする冬の風物詩「ランタンフェスティバル」が2月初旬に行われます。中華街をはじめとする市内中心部に約1万5000個のランタン(中国提灯)や巨大なオブジェが登場し街を彩ります。クリスマスとは一味違つた光のイルミネーション。「あると思います!」

また、龍踊りや中国雜技などのイベントも開催され、華やかに盛り上がることが期待されます。

お隣の県です。近場でございます。
ぜひ、この機会に長崎へのおこしをお持ちしております。

放射線科
菅原 裕平

人は必ず死ぬ時が来ます。福祉の仕事をしていると、人生を一本の長い線で見た場合にその線の終わりの期間で初めてお会いし、関わっています。多くの人生の先輩方のそういふ事が多くあります。長い時間を生きてこられた人生の先輩方のそぞろ歩きが登場し街を彩ります。クリスマスが登場し街を彩ります。クリスマスとは一味違つた光のイルミネーション。「あると思います!」

私たちが関わっていく方は何らかの疾病や障害を持つた方が殆どであり、不安でいっぱいだと思います。その方々がその人らしく残りの人生を生きていくように何か私たちに出来ることはないか、私たちにしか出られない事はないかと考え、その方の手助けとなり、生活の質(QOL)の向上や不安が少しでも軽減出来るよう支援していきたい、そう改めて考えさせられる一冊でした。

ケアコート ゆうあい 事務
中村 典弘



●人が死ぬときに後悔する
34のリスト 著者 川島 朗



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も寒い日が続いています

が、いかがお過ごしでしょうか?

「明日死ぬかもしれない。その時あなたは人生を後悔しない自信がありますか?」これがこの本の帯です。

私の答えはNOです。まだまだ若く、死というものを真剣に考えた事はありません。

ページを開くと、この本は著者(医者)が関わった患者さんの不安な思いや、死に対する恐怖、患者さんから教わった事などが書かれています。

織田病院では、皮膚科がようこそリニックとして院外へ設立され、新しい展開もありました。また、12月にはインドネシアからの看護師候補生が織田病院へ2名、介護福祉士候補者がゆうあいビレッジへ2名加わり、

グエルス初優勝などの明るいニュースは日本に再び活気を与えるきっかけとなりました。

スタッフが一丸となつて医療・介護・保健・予防各分野の連携を図ることで、仕事始めの日に理事長が話された、2014年の法人方針「Aging in place住み慣れた地域で自分らしく最後まで」の実現と総合ヘルスケアシステムの構築を目指していきたいと思います。

スタッフが一丸となつて医療・介護・保健・予防各分野の連携を図ることで、仕事始めの日に理事長が話された、2014年の法人方針「Aging in place住み慣れた地域で自分らしく最後まで」の実現と総合ヘルスケアシステムの構築を目指していきたいと思います。